行事の聴くお話

勤労感謝の日のお話

みんなはおにぎりが好きかな？　おにぎりは、炊いたお米を握って作りますね。では、お米はどうやって作られるのでしょう？

お米は農家の人たちが田んぼに苗を植えて、毎日世話をして、育った稲を刈り取ってできます。

日本ではずっと昔からお米を作り、それを食べて暮らしてきました。昔は、今のように便利な機械はありません。手でせっせとたくさんの苗を植えたり、稲を刈り取ったりと、とても大変な仕事でした。

ですから、秋になってお米ができると、農家の人たちは「ああ、ありがたい。神様にお礼を言おう。」と、お米や野菜をお供えして、お祭りをしました。

このお祭りの日が11月23日で、今の「勤労感謝の日」です。いろいろなお仕事をしている人たちに「ありがとう。」と言う日になりました。お店の店員さんや病院で働く人、ゴミを集める人など、がんばってお仕事をする人たちのおかげで、私たちは安心して暮らすことができます。みんなの周りには、どんなお仕事をしている人がいるでしょう？　探してみてくださいね。

（おしまい）

● 聴くお話は、耳で聴いただけで、様子を思い浮かべたり、内容を理解したりするお話です。小学生になっても必要とされる、「話を聴いて理解し、考えたり行動したりする力」を育てます。行事の導入や、ちょっとした空き時間にぜひご活用ください。

読みきかせ動画はこちら！

監修／加藤紫識（和洋女子大学教授）　作／古藤ゆず

Gakken

はっけん！11月号 WEB付録